

◆第18期 第5回立川市図書館協議会会議録◆

日 時	平成25年7月26日（金） 午後4時00分から午後5時30分まで
場 所	立川市中央図書館 4階会議室
出席者	岡野委員、上田委員、奥野委員、山本委員、荒井委員、田ヶ谷委員 山田委員、齊藤委員（副会長）、加藤委員（会長）
【事務局】	図書館長、管理係長ほか
【傍聴人】	なし

<副会長>

本日は地区館、中央館と視察を行ってからの協議会ということでお疲れ様でございます。3名の委員さんが欠席となっておりますが、委員数12名中9名が参加しておりますので、協議会成立となります。それではお手元の次第に沿って進めさせていただきます。まずは会長の方から挨拶をお願いいたします。

1. 会長挨拶

<会長>

今日は1時から視察ということで大変お疲れ様でした。時間も限られていますので、私の方からは1点だけ提案をさせていただきたいと思っております。今日は市の図書館を見て回りました。残念ながら校長先生がお忙しくてお二人とも欠席なんですけれども、やはり学校図書館についても小学校中学校と見学を試みる必要があるんじゃないかという気がいたしました。ただ、図書館協議会の方でも今年度は基本計画をつくるという大きな課題がある中で、視察の時間を取るの是非常に難しい部分もあるのも確かです。そこで例えば次回の協議会の開始前に1時間ぐらい取りまして、都合のつく希望者だけでも行ってみるですとか、そういう風に私の方からの提案として考えました。またこれは皆さんの意見も聞きながら、できればいいなと思っています。私の方では今回は以上です。

<副会長>

ありがとうございました。繰り返しになりますが、本日は視察の後ということで時間もありません。なのでなるべく簡潔に議事を進めていければと思います。ではまず報告事項ということで、6月議会の報告について館長からお願いいたします。

2. 報告事項

【1】6月議会報告

<図書館長>

それでは6月議会の定例会報告について、お手元の資料に沿って進めさせていただきます。日程につきましては5月10日（金）から6月13日（木）、土日も含めて述べ35日開催をいたしました。報告は図書館関連の内容を中心にまとめさせていただきます。

まず本会議一般質問ですが、4日開催されまして全体で23名の議員から質問がありました。教育部関係が12名、うち図書館関係は2名の議員からご質問を頂いております。まず1点目に「文化・芸術・スポーツの振興施策の充実を」ということで、図書館については「図書館利用の広域化」についてのお話を頂きました。広域化に関しましては、この後の文教委員会の説明のところでも述べさせていただきますので、恐縮ですが割愛させていただきます。2点目が「市民に役立ち、愛される図書館を」ということで、図書館行政とその継承改革についてのご質問を頂きました。内容としては大きく5点ございます。1つ目は人員配置に関するもので、今回指定管理館が増えたということで、指定管理館の人員配置と今後中心的な役割がさらに強まる中央図書館の人員配置をどのように考えているかというご質問でした。指定管理館の人員配置につきましては、先行導入しました2館で勤務していた経験のある職員を新たに増える館に割り振るような形を取ることで、立川市の図書館を知らない職員が各館の中心に配置されないような方法を取っています。また中央につきましては、複線型の人事異動ではありませんけれども、現状の人事異動制度の中でいかに専門的な知識を伝承していくかということは今後の大きな課題であると認識しており、取り組んでいかなければならないという回答を教育長の方からさせていただいております。2つ目に利用者の意見を聞き、反映する手段ということで、直営の特に中央館になぜご意見箱のようなものがないのかというご質問を頂きました。こちらについても設置する方向で検討したいと教育長から回答をさせていただいております。それから3つ目に小学校図書館との連携ということで、団体貸出以外に連携があまり見えないというお話を頂きました。こちらについても課題として考えておりまして、読書活動の推進という意味でも、学校との連携に重きを置いて様々な取り組みを検討し推進していきたいと考えております。その中でやはりボランティアさんにご助力いただくことも、連携というところでは欠かせないというのが教育長の回答でございました。次に4つ目、中央図書館の開館時間の拡大についてです。現在平日19時までですが、例えば一日だけ20時とか21時までとかやってみるのはどうかというお話を頂きまし

た。今回システムが新しくなりまして、1時間単位の利用状況なども把握しやすくなりましたので、ある程度利用状況などを分析したうえで、いきなり始めるのではなく例えば何曜日というように決めて試行的にやってみて、状況を判断しながら考えていきたいと思っています。ただ他市の状況を見てみますと、毎日ではなく部分的に8時ということではありますけれども、平日8時開館というのが半数くらいに増えてきておりまして、検討してまいりますと答えています。5つ目、視聴覚資料のPRにつきましては、プレミアのつくような視聴覚資料が多くあるにもかかわらずPRが弱いとのご指摘を頂きました。企画展示などの取り組みをやってはいるんですけれども、そのあたりのPRについては見直していきたいと考えています。立川市ではツイッターも始めましたので、そういったものもうまく活用して、広報では記事が間に合わないような場合でもリアルタイムで図書館でこういうことをやっている、というのを伝えていきたいと考えています。

続いて文教委員会ですが、6月3日（月）に行われました。議案・請願・陳情等は特にございませぬ。報告事項ですが全体で8課10件、図書館関係で2件ございませぬ。「他市図書館との相互連携の検討について」と今回の「図書館システム更新と新サービスの開始について」ということで、資料とともに説明をさせていただきます。

まず他市との相互連携についてです。相互連携というのは例えば立川市の市民が他の市の図書館を利用できたりですとか、他の市の市民が立川市の図書館を直接利用できたりする状態を指しています。他の図書館から取り寄せを行う相互貸借については既に行っているところですが、在勤・在学以外の相互連携については立川市の図書館では行っていないのが現状です。他市を見ますと26市中、立川を除く25市が既に何らかの形で相互連携を実施しておりますが、立川市としましてはこれまで立地条件、利便性、規模などの点から、実施すると市外の利用者が集中し、肝心の市民の利用機会を圧迫してしまうのではないかと懸念しておりました。これにつきまして、立川周辺の昭島、国分寺、国立、福生、東大和、武蔵村山の6市から頻りに連携の要望を頂いていたわけですが、ここで改めて要望のある6市の図書館のうち、市境にある図書館との距離や規模を比較検討しました。その結果、立川市民にもメリットですとか利用頻度が見込めないと意味がないだろうということで立川市との市境から徒歩10分圏内程度に中規模以上の図書館があるところということで優先的に考えて、国立市が挙がってまいりました。国立市については教育長レベルでもかなり申し入れがありました。国立市の現状からしますと、国立駅から徒歩10分程度のところに北市民プラザというのがございまして、こちらが立川市の羽衣町地区に近く、立川市民についても一定の利便性を見込めるだろうということで考えております。ただ、連携につきましては、立川市民とまったく同じ条件ではなく、貸出冊数や予約件数について多少の

制限を設けるなどしまして、やはり市民の利用機会の圧迫にならないような連携条件を盛り込んで検討していくということで話をしております。また連携開始については十分な準備期間・周知期間を確保しなければならないということと、連携開始後もお互いに利用状況などをデータ交換・検証をして、今後の展開を考える必要があることの説明をいたしました。

もう1点の報告事項は今回のシステム更新についての内容ですが、こちらについては既に過去の協議会の中で説明した内容と重複しますので資料のほうだけご確認いただいて、説明は省かせていただきたいと思います。

報告につきましては以上ですが、これに関して1名の議員さんから質問を頂きました。まず相互連携について、今までの課題や周辺他市の状況、実際の開始時期についてのご質問でして、ただいまご説明したような内容で、相互的に市民交流が進むような連携につながるようこれから協議に入っていくということで説明をしています。開始時期につきましてもなるべく早い時期とは説明しましたが、既に25市が導入しているという状況を考えた上で、最低でも半年は協議が必要だというアドバイスもいただいておりますので、そうした他市の状況も参考にしていきたいという話をしています。またシステム更新についてもご質問いただきましたが、高齢者への配慮や人員体制、直営館と指定管理館のサービス内容についてなど、質問と言いますかご指導を頂いたような形です。中では協議会への報告もしっかり行うようにというお話もありましたが、今回7月定例会の視察の話もそこでさせていただきました。

所管事項の質問についてですが全体で3名から4件のご質問がありましたが、図書館関係の内容はございませんでした。

最後に本会議、最終日の6月13日（木）ですが、補正の審議を行いまして承認されました。図書館関係は特にごございませんでした。議会についての報告は以上となります。

<副会長>

ありがとうございました。ただいま館長から議会についての報告がございましたが、何か質問などありますでしょうか。

<A委員>

他市との相互連携について、以前からこうした要望が出ていたけれども市民の利用が圧迫されるかもということで断っていたということですが、ここに来て急に立場を変えたのはなぜなのでしょう。

<図書館長>

きっかけとしまして教育長レベルの連絡会がありまして、今回そうした場で教育長が他市からかなりの要望を受けたようです。そこで状況を教えてくれという依頼が来ましたので、26市中25市という話をしたところ教育長から市長に報告が上がり、そういう状況はどうかということで、トップダウンのような形で検討を行うよう話を頂きました。

<A委員>

市長からの指示ということですか。

<図書館長>

図書館としてこれまでの経緯なども含めて話をしたところ、市長からというよりは立川市としての施策などを議論する経営会議という場で話し合いまして、まずは図書館単独で考えるのではなく、立川市として来街者をお招きする姿勢を考えたときに、単純なギブアンドテイクでは考えにくいだろう、市の行政の中の図書館サービスという視点で進めていってほしいということでまとまりました。

<A委員>

それを受けた上で図書館としての考えはどうなんでしょう。

<図書館長>

私としましては、立川市として図書館をPRすることで来街者を増やすというのは効果の程度は何ともわかりませんが、理屈としては十分わかります。また26市で立川だけがやっていないという状況において、それでも立川ではやらないと言えるだけの理屈もそれほど強く主張できるものではないと思っています。ただやるにあたっては、意向はわかるけれども、一方的に利用されるということになっては困りますので、立川市民の図書館として市民にメリットのあるような連携を検討して、まず国立市と協議をするという話をしています。

<A委員>

ちなみに資料の方には国立市との連携について市民から要望が寄せられているとありますが、これは具体的に意見聴取したりしたんでしょうか。

<図書館長>

それについては国立市からの報告となります。国立市の図書館に立川の市民が連携してほしいと要望している、との報告です。

< A 委員 >

具体的にどれくらいというのはあるのでしょうか。

< 図書館長 >

はっきりと広聴カードのようなものを数えているわけではありませんので、実際のところとしては「そういう要望がある」くらいのものかと思います。

< B 委員 >

投書箱のようなものに入っているということですか？

< 図書館長 >

いえ、カウンターで直接言われるようです。立川市民が来て、窓口で。

< A 委員 >

羽衣町に図書館がないからですね。

< 図書館長 >

そこは何ともわかりませんが、立地から考えると羽衣町の住民の方の要望の可能性は高いかもしれません。

< A 委員 >

羽衣町はいわゆる空白地域ですね。

< 図書館長 >

確かに議員さんにも、広域連携を空白地域対策の方策の一つとしてやったらどうかと仰る方もいらっしゃいます。

< 副会長 >

すみません、私からもいいでしょうか。広域利用の話というのは図書館界では一般的な話でして、相互の乗り入れを25市が何らかの形でやっているというように進めて自然な話だと思います。では立川の場合何が問題だったかと言いますと、もしもこれで多くの利用が集中した時に人員や予算を増やすとかそういうことが難しいというところだったんです。だからトップダウンで、市としてやりたいと言ってくれた方が、逆に図書館からあげていくよりも理解を得るプロセスが省けて、没になる可能性が少ないですし、良い形になりやすいのでありかなと考えています。あくまで私の意見ですけれども。

< A 委員 >

ちなみに国立市との連携を検証した上で、段階的にその他の市についても検討ということになるわけですが、その場合には今挙げている距離なんかの条件は緩めていくことになるのでしょうか。

< 図書館長 >

私が国立市を候補とした理由として、実はもう一つ、通勤通学の人の流れというものを考えています。例えば昭島や武蔵村山のような立川市の駅を經由して通勤通学する人が多い自治体の場合は、言い方は失礼かもしれませんが、図書館が連携をしなくても自然に立川に流れてくるだろうという風に思っています。それに対して新たな流れを一つ作るとしたときに、やはり立川よりも都心寄りの自治体に対して、都心へ向かう流れ以外の新たな市民交流の流れを生み出すのは意味があるかなと考えました。この後に他の市というのを考えると、どうしてももともと立川へ来る人の多い地域になってきますので、より慎重なデータ検証が必要だろうと思います。

< 副会長 >

どうでしょう、よろしいでしょうか。それでは議会の報告はここまでとしまして、もう一つの報告事項、新図書館システムの稼働状況についてですが、資料と視察の方で報告は省かせていただいて、何か質問などありますでしょうか。

< 会長 >

すみません、私から一つだけ。今回見てきたように、様々な機器を入れて、配置の効率化なんかもやられたと思うんですが、この改修にいくら費用が掛かったのかということと、コスト計算的にどの程度人員が浮くのか、概算で良いのですが次回にでもご報告いただきたいと思います。

< 図書館長 >

わかりました。

< 副会長 >

他にはよろしいでしょうか。それではその他、報告事項について事務局の方から何かありますでしょうか。

<図書館長>

報告というとは少し違うのですが、過日行われた平成24年度の多摩地域公立図書館大会のご案内ができておりませんでした。大変申し訳ございません。お配りした資料に、当日の内容についての簡単な紹介をつけさせていただきましたのでご覧いただければ幸いです。

<副会長>

多摩大会の報告ですね。せっかく気仙沼から教育長さんが来てくださったんですが、参加はあまりいい状況ではなかったようです。気仙沼さんは非常に頑張ってまして、また新しく図書館を建てるということで大変いい内容だったんですけども、人を集められなかったのが残念でした。

<図書館長>

ちなみに25年度なんですけれども、幹事市は立川ではないんですけれども会場を提供させていただきます。こちらのAIMで開催いたします。来年2月の5～6日です。

<副会長>

ありがとうございます。その他にみなさんの方からなにかありますでしょうか。

<A委員>

すみません。今回の協議会前の見学について、直営館と指定管理館の比較のような形で行ったわけですが、主旨はなんだったんでしょうか。

<図書館長>

協議会の方から視察の話が出ましたので、地区館について今回は直営と指定管理と一館ずつ、それにカウンター周りが新しくなった中央ということで選出をしました。別段比較してどうこう、という意図はありません。

<A委員>

そうですか。それはそれとして、指定管理館がポプラディアの関係ですごく力を入れていて良かったんですけども、継続性の点なんかはどうしても心配です。例えばいいなと思ったときに、そういう事業に市としても引き継いで力を入れていくような意向はあるのかな、というのが一点です。あともう一点、指定管理館を見ていた時、試行期間の時は事業料の中に講師料が含まれていたけれども今年度それがなくなって独自負担になったという話があったんですが、以前質問した時には講師料は入ってないと聞きました。その辺りについてはどうでしたか。

<図書館長>

講師料というより、自主事業のことでしょうか。自主事業については指定管理料を使わないで、指定管理者の経費を使って行うものという位置づけになります。

<A委員>

ですが以前は事業費の中に講師料が含まれていたということだと、無料でやってくださる講師なんかもあったと思うので全部ではないと思うんですけども、市のお金でやっていた部分があるということだと思うんですね。その辺りが当初の認識と説明とで食い違っていたので、実際のところはどうかかなと気になっています。

<図書館長>

わかりました。その点については私の方でも過去の事業報告など確認をさせていただきます。あともう一点の方、ポプラディアの件ですがサービス第二係長どうでしょう。例えば中央に簡単に入れられますか。

<サービス第二係長>

ポプラディアネットのことですよ。有料データベースになりますので、入れる場合は使用料や専用の端末の導入費用がかかります。

<副会長>

導入館ではその費用は指定管理者の方で持ってるんでしょうか。

<主査>

ポプラディアネットは提案事業になります。提案事業と自主事業の切り分けも難しい部分がありまして、現在協議も行っているところですが、今のところ提案事業については指定管理に入る前に提案を受けまして、協議の上認めているものになりますので、指定管理料の中でやっております。

<副会長>

私が気になってますのは、立川市としてやるというものであれば利用者からすると公平にサービス提供するべきだろうというところなんですね。指定管理の入ったところではこういうサービスができる、ということ自体は、指定して任せているわけですし競争の原理も働くのでいいと思うんですけども、差が出てしまうのはどうだろうか。立川市図書館としてみたときに、サービスの公平性とか統一性という部分でどこで折り合っているのかが何となく見えづらいとは思いますが。提案事業や自主事業で色々やられて、それぞれが競い合うということならいいんですけども

その結果が公平になっていないような感じがあるのは気になるところです。単純に指定管理の入ったところでは良いサービスが受けられて、入っていないところでは劣ったサービスということになってしまったときに整合性をどうつけるかというところですね。やはり市として市民全員に公平にサービス提供できる形が理想的です。すいません、私見でした。

<図書館長>

そうですね。ポプラディアネットにつきましては、経費もかかる問題ではあるんですけども、直営館としても検討する余地はあるとは思いますが。ただ利用頻度的なところを私の方でも正確に把握できていない部分がありますので、現在指定管理館のうち3館でポプラディアネットが使える状況なんですけれども、少し利用頻度や有効性を分析して、図書館全体として導入が望ましいかどうか考えたいと思います。

<副会長>

この話で時間を取りすぎてしまいました。報告事項については以上でよろしいでしょうか。それでは協議事項に入らせていただきます。

3. 協議事項

<副会長>

それでは協議事項ですが、「図書館基本計画施策項目の評価内容について」ということで、まず館長の方からご説明いただけますか。

<図書館長>

はい、お手元に資料をお配りしておりますが図書館基本計画が全部で70項目ございますので、2つに分けさせていただきました。定例があと3回ありますので、次回までに前半、次回以降に後半を見ていただいて、それぞれ定例会の場や電話、メール等で質問などお受けしようと考えています。今回は前半をお配りしてまして、大きな施策4本のうち、3本目の途中までが対象になっています。なお大きな施策レベルの評価ですが、教育委員会の点検評価を行っておりまして、教育委員会の一次評価と外部評価委員評価を参考に紹介させていただいております。その次からが項目ごとの評価になっておりまして、概要と取り組み状況、A～Cの3段階の事務局の評価を入れさせていただいております。また文章だけでもわかりにくいかなと思いますので、成果指標ということで可能な限り数値なども示しています。24年度が中間年となりますので、今回はこれらを参考にして基本計画の中間評価のためのコメントを頂きたいというのが事務局からのご提案になります。この項目はいらぬんじゃない

ないか、この項目を入れたほうがいいんじゃないかというところも含めまして次回までにご意見を頂戴できればと思います。ご覧いただいてご不明な点などありましたら仰っていただければと思います。

<副会長>

はい、ありがとうございます。前回から出ております外部評価について、協議会の方で細かく見ていくという提案が出まして、そのための叩き台が今回の資料ということになります。ここに協議会のコメントが入っていくということになりますが、何かご質問ご意見ありますでしょうか。もしすぐ出なければ私の方から何点かあるのですが、これは平成24年度の評価になるわけですけれどもこの評価はいつまでに上げるんだったでしょうか。24年度の評価を25年度中に上げるということでしたでしょうか。

<図書館長>

はい、そうです。

<副会長>

そうすると24年度にやったことを25年度に評価して、26年度につなげるというのが一番なのですが、おそらく秋から26年度の予算要求があると思うんですが、そこには反映できないという状況になりますね。たぶんPDCAサイクルでやるのが前提になっていると思うんですが、評価まではいいけれど改善の部分が対応できずに一年先になってしまうということが起きてしまいます。今回は初めてということなので良いと思いますが、今後も考えるのであれば4月か5月の段階で仮のものを出して、7月頃には評価としてまとめるというようなスケジュールで決めていかないといけないだろうと思います。予算に反映して改善しなければ評価をしていく意味がなくなってしまうから。あとは館長もおそらく心配されているだろうと思いますが、誰がどのように評価をしていくのか。私が知ってる事例ですと、部会を作って仮の評価ををまとめて協議会で本会議にかけるといようなやり方なんですけれども、ここではどうしましょう。とりあえず今回の内部評価をそれぞれ見ていただいて、次回まとめ方を考えましょうか。

<図書館長>

そうですね。あとは事務局で少し考えている方法として、今回お渡ししたものについてのみなさんからのコメントを8月いっぱい集めさせていただきまして、大変恐縮ですが会長副会長と事務局とでみなさんから寄せられたコメントを基に協議をするのはどうかという話も出ています。ただ今回半分お配りするので一杯になっ

てしまっている状況で、8月中にコメントを頂戴できるかというところ、補足説明などが必要な部分が出てきた場合に難しいだろうかと、事務局内でも迷っている部分があります。

<会長>

すいませんいいでしょうか。副会長が仰られた予算反映の問題もあるんですが、それよりも次期の27年度の図書館基本計画に評価の結果をどう反映させていくかというところが大きな課題だと思うんです。それで評価ですが、今話も出てきたように、かなり時間がかかりそうですね。我々は来年の4月までが任期ですが、基本計画の作業はそこから引き続き進んでいきます。そうした状況で残りの協議会で決めていくとなると、やはりスケジュールの方を詰めて考えないといけないでしょうね。

<図書館長>

副会長からご指摘があった通り、今回の進め方ですと26年度の予算には反映できない状況にあります。そこに反映させるとなると、やはり4月早々からお願いをしていって、そろそろ結果を固める必要があるでしょうね。なので今回の評価はやはり27年度予算に向けてということになってきまして、会長から話のあったように基本計画と合わせて考えるようなスケジュールで考えたいと思っています。ただ27年度の計画づくりは26年度から始まりますので、どちらにせよ評価自体は遅くとも今年度最後の協議会までに固めないといけません。

<副会長>

協議会の中でということになりますと、協議会の日程に合わせて進めないといけませんけれど、やはり具体的にどうするかという問題になります。まずみなさんにコメントを書き添えていただき、事務局で集約する形ですかね。

<図書館長>

その形式であれば先ほどお話したように、8月中にコメントを全て網羅は無理だとしても書ける部分について書いていただきまして、会長副会長と協議を行った上で次回を迎えられないかな、というような話になります。

<A委員>

以前、なかなか専門家でもない私たち個人でこれにコメントをつけていくのは難しいという意見が出ていたかと思うんです。作業部会を開くという話もあったと思うんですがそれはどうなりますか。

<図書館長>

作業部会を開く場合なんですけれども、メンバーですとか人数のイメージっていうのはおありでしょうか。

<A委員>

この前話した時にはどうでしたっけ。4~5人でしたっけ。

<副会長>

以前私が紹介した例ですと、協議会全員では話し合うのは難しいということでちゃんと規定を作った上で部会を作っています。一応メンバーは4人ですが、実質作業は3人で、コメントを書いて議論して叩き台を協議会に諮るという形でした。叩き台がないとなかなか全員での議論もあっち行ったりこっち行ったりして進まないものですから、叩き台を部会で作って協議会で修正をしていくやり方です。

<会長>

報告が2つに分かれているわけですから、今回の場合でしたら部会も2つにして分担して作る方法もありますね。

<図書館長>

ただ部会を作る場合のメンバーなんですけど、みなさんどうでしょう。先ほどは8月いっぱい個人でこれにコメントを書くのは難しいという意見もありましたが、他の方から意見などありますでしょうか。

<副会長>

どうでしょうか。それともやはり少し大変ですがみなさんそれぞれでコメントを書いていただいて、事務局に上げていく形で今回はよろしいでしょうか。コメントの書けない部分についてはもう仕方ないですし。

<図書館長>

もしよろしければ今のようにコメントできるところから優先的に書いていただいて、部会ではないですけど事務局と会長副会長とでコメントについて整理して、次回までに何らかお出しするような進め方にしたいと思います。

<副会長>

どうですか。あるいは作業部会のために何人か選任をしますか。

<会長>

意見も出てきませんし、とりあえず今回は事務局の考えた通り8月末を区切りとしてどうしても出ない部分は除いて最大限の努力をしていただいて、それを取りまとめた段階で、整理するにはやはり作業部会が必要だとなればそこで選出を行うような二段階にしてはどうでしょうか。

<副会長>

ではそういう形にしましょうか。とりあえずは8月末までにコメントを書き添えていただきます。これはデータで提出の方がよろしいでしょうか。

<図書館長>

そうですね。メールアドレスはみなさんお持ちでしょうか。事務局では把握していません。じゃあお持ちの方については書いていただいて、データでの提出をお願いします。

<副会長>

残りの部分についてはどうしましょう。それも合わせて見てみましょうか。

<図書館長>

一度に大量にお渡しするのも大変かと考えたのですが、もし必要であれば次回を待たずに配布しましょうか。

<会長>

今回は前半に集中してしっかり見る方が良いでしょう。

<副会長>

それでしたら今回は、お配りいただいた資料について、それぞれの項目にコメントをつけるということで、事務局の方にメールで提出するようにお願いいたします。

<C委員>

これはこの資料の枠の中に鉛筆なんかで記入をしていく形でも良いでしょうか。

<図書館長>

それでもいいですし、スペースが足りなければ別用紙で番号をつけて書いていただいても構いません。

<副会長>

ただやりやすさから言えばデータで作って、それをまとめていく方がやりやすいですね。

< C 委員 >

そうするとやはりパソコンで作って送る方がいいですね。わかりました。

<管理係長>

今回の通知をお送りした中に図書館のメールアドレスが入っていますので、そちらにメールの方を送っていただければ、今回の資料のデータをお送りできますので、そこに入力していただければと思います。

< C 委員 >

ああ、それが一番いいですね。書式も統一されている方がまとめやすいですね。それで全部を埋めなくてもいいということですね。

<図書館長>

そうです。あと、もしメールアドレスをお持ちでない方がいらっしゃいましたらFAXでも郵送でも構いませんので、紙で出していただいても結構です。また内容でも表現でもわからないことあればお電話やメールでお尋ねいただければご説明をいたします。

<副会長>

すいません、一点だけ。事務局評価の部分ではA～Cのランク付けをしていますが、協議会コメントの方ではランクはつけますか。

<図書館長>

通常はありますね。

<副会長>

ランクがついているとまとめる時にいいですね。それぞれの評価の中でランクのふれているところについて、どうしてふれたのか調整をかけていくことができますので。なので感覚というか、直感的なところで構わないと思うんですけどもA～Cがあると良いと思います。

< C 委員 >

そうするとコメントに加えてランクをつけて提出すればいいですかね。

< 副会長 >

そういう方法もありますが、今回の場合はどうかと思ひまして。

< 会長 >

ただコメントだけでなくランクをつけるというのは、それぞれの事業の内容を十分に知らないとなししいです。例えば、今回は事務局評価の方にランクがついていますので、そのランクに対して妥当なのか甘すぎではないかというような視点でつけてみたはどうでしょう。やはり我々だけの判断でランクをつけるというのはやはり厳ししいです。

< 図書館長 >

事務局としては今回外部評価も初めてですし、ランク付けはつけてもつけなくてもどちらでも構わないと思ひます。そうですね、会長が仰られたように事務局評価を一つの指標として、甘いとか辛いとか考へて判断していただきましようか。

< 副会長 >

そうですね。項目は作っておいてもらえますか。

< 図書館長 >

こちらも強制ではないので、判断できない場合などは事務局評価に準じるような形でよいでしょうか。

< 副会長 >

後で見るときに事務局評価とのズレというのもの、そこを説明していくのが評価として非常に役立ちますのでそうしてもらえると良いですかね。ではコメントをみなさんできる限り書いていただいて、事務局評価についても妥当かどうか判断して、わかる場合はランクをつけていただきましよう。メールアドレスをお持ちの方は事務局あてにメールを頂ければそのアドレスに事務局から記入用のデータをお送りするというにいたします。これについて何かご質問などありますでしょうか。

< 図書館長 >

繰り返しになりますが、ご不明な点などありましたら遠慮なくご連絡ください。皆さんからご質問などあった場合は可能な限り全体で供給できるように工夫いたし

ます。

<副会長>

はい。それでは協議事項の評価に関する内容は以上とさせていただきます。その他、事務局の方から何かありますでしょうか。

<図書館長>

一点ございます。実はこちらでも27年度の基本計画づくりに先立ちまして、図書館の利用者アンケートを取る予定でございます。今年度の10月頃になる予定でしたでしょうか。

<管理係長>

はい。今回、全庁的にアンケートの配布と集計の作業を行うようになっている関係で、前回アンケートを行ったときは年度末に近かったんですけども、今回は9月から10月にかけて実施を予定しております。

<図書館長>

今回は全庁的に計画のためのアンケートを行うような形になっておりますので、図書館もそれに合わせる形にさせていただいております。ちなみに前回5年前に配ったものを今回の資料につけております。内容的には電子書籍ですとか入っていない部分もありますので、若干直す予定ではありますが、あまり項目を増やすと回答率が下がってしまいますので、全体で25～26項目程度という中で見直しを行いたいと思っています。こちらについても、みなさんから質問内容などご意見等ございましたら合わせて8月末までに頂戴できればと思っております。

<副会長>

ではこちらについても資料の方に目を通していただいて、こんな項目が必要じゃないかというようなものがあれば連絡をお願いいたします。ちなみにすいません、時間を取るつもりはありませんが一点だけ。利用者アンケートというのは利用している人向けのアンケートですので、利用していない人の満足度は取れませんけれども、そういう人向けのアンケートというのは立川市ではやっていないのでしょうか。

<図書館長>

図書館で行うものではありませんが、例えば体育館ですとか他の施設についても含めた中で「図書館を利用していますか」というような漠然とした質問をするものとしては、毎年市民アンケート調査があります。

<副会長>

あるんですか。それならその結果もちょっと欲しいですね。

<図書館長>

わかりました、用意いたします。

<副会長>

今のアンケートにつきまして、他にご質問などありますでしょうか。よろしければ今日の議題については終了になります。最後なんですけれども、次回の日程です。現在第一候補として10月25日の金曜日を予定していますがいかがでしょうか。都合の悪い方はいらっしゃいますか。あるいは11月1日とだとどちらが良いでしょう。

<会長>

私がちょっと1日は都合が悪いですね。

<副会長>

そうしましたら10月25日にいたしましょう。時間ですが冒頭で会長からお話の合った学校図書館の方はどうしましょう。

<図書館長>

今回ご欠席の校長先生のご都合もありますので、その辺りは少し調整をさせていただきます。

<副会長>

わかりました。では基本14時から協議会開始ということにしておきましょう。よろしいでしょうか。それではみなさんからなければ、今回はこれで終了といたします。どうもありがとうございました。